

長崎大学 リレー講座2019

2020からの
日本を考える



ひらこう 未来のページ

2020の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、経済企業、AI、ロボット、社会・国際関係など様々な分野で大きく変わっていくだろう日本。この先どうなるか、一緒に考えてみませんか。

定員
500名

定員になり次第、
締め切らせて
いただきます。

受講料
3,000円

(全講座分)

※高校生以下、長崎大学生は無料
下記お問い合わせ先にご連絡ください。

▶ **申込期限9/20(金)まで**

お申込み 事前申込制

お申込みいただいた方に
受講料の振込方法をご案内し、
振込確認後に受講カードを郵送します。

お申込みはホームページから
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>
または下記お問い合わせ先から



お問い合わせ先／
長崎大学広報戦略本部TEL.095-819-2007
(受付時間／平日10:00～17:00)

[開催期間] **2019.10.11(金) ▶ 12.19(木)**

4人の講師情報は裏面へ >>>

会場: 長崎大学中部講堂 文教キャンパス 長崎市文教町1-14



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



長崎新聞社



十八銀行

主催○長崎大学／共催○長崎新聞社、十八銀行／後援○長崎県、長崎市、長崎市教育委員会、長崎経済同友会、
長崎県経営者協会、長崎商工会議所、(一社)長崎青年会議所、長崎都市経営戦略推進会議、長崎経済研究所

第1回

2019
10/11 (金)

株式会社hapi-robo st 代表取締役社長
ハウステンボス株式会社 取締役 CTO

富田 直美



AI、ロボット、IoTを 社会に活かす

ハウステンボスにおけるロボットの立役者でもあり、米国企業11社の経営をしてきた富田が、豊富な経験を基に、人とロボットが補い合うロボット社会の可能性と、E-Trinity(自己・自然摂理・環境経済)による幸福世界の実現を目指していく方法について講演します。

PROFILE◎

1948年生まれ。外資系IT企業の日本法人社長など11社の経営に携わる。2016年にハピロボを立ち上げ、ハウステンボス取締役CTOとしてHISグループのロボット事業全般を統括。“富田考力塾”を全国展開。

第2回

2019
10/23 (水)

メモリードグループ 代表
長崎商工会議所 副会頭

吉田 茂規



“ながさき”からの挑戦 ～夢は無敵大～

長崎の誇りである歴史と文化、そして平和。新たな都市の“価値”の創出へ向けた「取組み」。また長崎の産業・都市基盤整備へ向けた「選ばれるまちづくり」「夢のある住みたい・住み続けたいまちづくり」の構築。変革を恐れず、“仕組みと仕掛けづくり”のための確固たるビジョンづくりに向けた挑戦。

PROFILE◎

昭和18年、北九州市出身。福岡大学経済学部卒業。友人らと始めた貸衣農業を経て、昭和44年に(株)長崎冠婚葬祭互助センター(現社名:(株)メモリード)を設立。現在、グループ年商546億円。趣味は登山。

第3回

2019
11/22 (金)

フジテレビ上席解説委員

平井 文夫



国際社会でどう生きるか？ 報道現場で学んだ事

フジテレビで32年間、記者として取材してきました。海外では革命や動乱、国内では政権交代や事件事故に接しました。我々はこれから国際社会でどう生きていけばよいのか。答えはたぶん歴史を学び異なる文化を尊敬することです。我々の素晴らしい未来について皆さんとお話したいと思っています。

PROFILE◎

長崎市出身59歳。立命館大卒業後フジテレビ入社。ワシントン特派員、首相官邸キャップ、編集長、政治部長。「新報道2001」コメンテーター。日本記者クラブ企画委員。ネットで辛口コラム連載中。

第4回

2019
12/19 (木)

筑波大学体育系教授
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与

真田 久



東京2020後のオリンピ ック・ムーブメント

東京オリンピック・パラリンピックは1964年に続き二度目である。両者に共通のビジョンとして、復興、次世代への継承、おもてなし、そして平和があげられる。さらに東京2020大会のビジョンに「多様性と調和」がある。これらをキーワードに今後のオリンピック・ムーブメントと社会を読み解く。

PROFILE◎

1955年12月東京生まれ。1982年筑波大学大学院体育研究科修了、福岡教育大学教員。1996年筑波大学に転任し2008年より現職。博士(人間科学)。IOCオリンピック研究センター助成研究選考委員。